

きょうと福祉倶楽部だより

2024年 第4号

値上げ、値上げ、値上げで細る春
値上げ、値上げ、値上げで細る春

この4月、多くの品物の値上げが続いています。その数、なんと2800品目を超えるといえます。

医療、介護、年金も厳しい改定で市民の生活を脅かします。

まずはお医者さんにかかる発生する診療報酬は実質6回連続の引き下げです。これは医療経営の悪化や診療体制の縮小が懸念されます。医療機関は生き残りのため働く人の労働条件を切り下げたり、差額ベッド代などの自由診療分の拡大で「弱者」にその困難を転嫁することもあり得るでしょう。

訪問介護はすでにお知らせしたように基本的な報酬は引き下げられました。経営の維持に大きな影響を与える部分の削減は経営の悪化に結びつきます。一方で利用者さんの負担増に結びつく用途が労働者の処遇改善に限定された加算額は増えています。

つまり利用者さんの負担は増えることが予想されます。

事業者は働く人への賃金は上げながら、経営の維持へあてられる報酬は減らされるのですからたまったものではありません。



医療保険では現役世代の負担抑制を口実に、75歳以上の高齢者の医療保険料は引き上げです。

そして年金の引き上げ額は物価上昇率を下回りますので実質は削減です。

このような状態にわたしたちは「国にはお金がないから」とあきらめなくてははいけないのでしょうか？

様々な問題が指摘される大阪万博の建設費高騰や防衛費の倍加に「お金がないから」と政治家の声は聞かれません。

お金を使う物差しが狂っているのではありませんか？

いのちの大切さを政治家の皆さんが説くならばまずは物差しを取り替えることが必要ではありませんか？



新型コロナウイルス インフルエンザ感染拡大に伴う利用者のみなさんへのお願い
●サービス利用中は可能な限りサービスご利用の方もマスクの着用をお願いします。
●利用者、同居の家族のかたの体調不良(発熱など)はあらかじめきょうと福祉倶楽部までご連絡ください。

有限会社 おとくに福祉研究所

きょうと福祉倶楽部

〒617-0824

長岡京市天神4丁目7-12 ハイッ草舎101号

TEL 075-958-2560

FAX 075-957-2808

E-mail info@fukushi-club.com